

蕪山高校 Q & A 【令和 4 年度版（11 月 7 日更新）】

Q 1 : 蕪山高校の魅力、セールスポイントは何ですか？

A : 「自由闊達」「文武両道」の校風の下、部活動・生徒会・探究等の充実した活動と難関大学進学に対応した学習に、高い志を持つ仲間たちとともに取り組むことができます。

数多くある魅力のうち、特に強調したいのは次の 5 点です。

①「ひと」が素晴らしい

何事にもひたむきに取り組む生徒、指導力に優れた教職員は本校の誇りです。また、保護者や卒業生の皆様も協力的で、生徒や学校の活動を支えていただいています。

②上質な学習指導と進路指導

指導力に優れた教職員による授業は生徒の学力を着実に高めます。加えて、補講等の進路に特化した支援により難関大学等を目指す生徒の進路希望を実現させています。

③多彩な学校行事と教育活動

本校最大の学校行事「龍城祭」で高校生活の醍醐味を味わうことができます。修学旅行は、理数科や文系探究コースが海外を目的地とするなどバラエティに富んでいます。また希望者を対象にイギリスでの語学研修や学校でのオンライン英語学習など、英語力の強化に力を入れています。

④恵まれた環境と充実した支援体制

豊かな自然に囲まれ、思い切り活動に取り組むことができます。校内は空調設備、ICT 環境が整い、学習に不便を感じません。県内公立高校屈指の志龍講堂には、メニューが豊富な食堂、静謐な自習室があり、生徒の学校生活を支えています。函南駅から学校内までスクールバスも運行しています。

⑤豊かな歴史と伝統

来年 2023 年（令和 5 年）、創立 150 周年を迎える県内で最も歴史のある学校です。幕末の動乱期に日本を外国から守るといふ高い志を持って奔走した江川坦庵公を学祖とし、蕪高生も坦庵公由来の校訓「忍」を誇りとして、高い志を持っています。

Q 2 : 蕪山高校に入学するとどのようなメリットがありますか？

A : 学力の向上、進路目標の達成、学習と部活動等との両立、たくましい心身の育成など枚挙にいとまがありません。探究活動や海外語学研修、海外修学旅行など本校独自の行事に参加することで豊かな想像力と柔軟な思考力を養うことができます。個性を認め合い、高い志を持つ仲間たちと過ごす高校生活により、一生の中でかけがえのない経験を得ることができます。

Q 3 : 学力を伸ばし、進路希望を実現するため、どのような支援体制がありますか？

A : 県内トップ校で指導に当たってきた経験豊かな教員を中心に、新しい大学入試に対応した授業と進路指導を行います。土曜日や放課後、夏休み等の長期休業日には希望者を対象に講習を開講しています。また、進路希望（大学で修める学問分野）の選択や進路希望に応じた指導等、生徒の進路実現に資するキャリア教育を併せて展開しています。志龍講堂 2 F の自習室や 1 F の生徒ホールを始め、校内のそこかしこに自習できるスペースがあり、土、日曜日

などの休日も開放しています。高い志を持つ仲間たちと励ましあいながら学習に取り組む校内の雰囲気、進路実現を力強く後押ししてくれます。

Q 4 : 文武両道を校風としていますが、部活動と学習の両立ができるような配慮はありますか？

A : 本校では、進学校としてあるべき部活動を行っています。完全下校時間を 19 時 30 分とし、週 1 日・年間 100 日以上の完全休養日を確保するなどのルールを定め、学習時間の確保を保證しています。

Q 5 : 学習面以外で学校生活を充実させる行事等がありますか？

A : 3 日間行う龍城祭は、企画から準備、運営等まで 100% 生徒の手によって作り上げられる行事です。1 年生の高原教室も同じように生徒の手によって行います。2 年生の修学旅行は、理数科がアメリカ (NASA 等)、普通科文系探究コースは東南アジア (シンガポール・マレーシア)、普通科は九州地方等を予定しています。また、各クラスで事前に練習に取り組むスポーツ大会も大変盛り上がります。

Q 6 : 入学者選抜ではどのような学校裁量枠を設定していますか？

A : 理数科において「中学校における学習」を重視する観点とする裁量枠を設定しています。調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題がなく、学力検査の得点合計が一定水準に達している者を対象に、調査書の学習の記録における 9 教科の評定合計に優れた者を合格者とします。希望者を対象としており、中学校の学習成績が良好だった人は是非志願を検討してみてください。

Q 7 : 「文化的・体育的活動」を重視する観点とする裁量枠を設定しないのはなぜですか？

A : 本校は、特定の競技や分野の部活動に入部することを条件とせず、誰でも公平に志願できるようにしています。また、本校が掲げる「文武両道」は、生徒一人一人が勉強と諸活動(部活動、生徒会活動、探究活動等)を両立することを目指しています。従って、特定の部活動を選抜において重視する観点とする学校裁量枠は設けていません。本校の部活動は、学校設定枠を設けた学校に比較し遜色のない実績を上げています。部活動に積極的に取り組んだ生徒の多くが、進学においても難関大学合格を勝ち取っています。

※県外から志願を考えている方へ

本校では「文化的・体育的活動」等を重視する観点とする学校裁量枠を設けていないため、静岡県以外の都道府県から志願する場合、保護者との一家転住が必要になるなど志願資格に限られます。詳細については本校までお問い合わせください。

Q 8 : 入学者選抜で中学校時の部活動について選抜の資料として評価しないのですか？

A : 共通枠の第 2 段階で、調査書の「特別活動(生徒会活動等)の記録」、「諸活動(部活動等)の記録」など学習の記録以外の記載事項や面接の結果を評価し、共通枠定員の 10% 程度を合格者としています。この段階において、中学校時の部活動の実績や活動の内容について積極的に評価しています。

Q9：入学後、どのくらいの費用がかかりますか？

A：入学時には、県立高校共通の費用として、入学金¥5,650、授業料（年額）¥118,800があります。ただし、授業料については就学支援金の受給対象の方は納入不要です。また、諸会費、予納金等¥120,000程度（普通科）¥134,000程度（理数科）と修学旅行積立金（金額は目的地による。）があります。その他教科書や物品代、制服等の購入費用が必要となります。詳細については、韮山高校ホームページの「事務室より」→「中学生の保護者様へ」に記載しています。

Q10：韮山高校ではどのような生徒の入学を期待していますか？

A：「自由闊達」「文武両道」の校風の下、部活動・生徒会活動・探究活動等や難関大学進学に対応する学習に主体的に取り組む意欲を持つ、チャレンジ精神旺盛な生徒の入学を希望します。

《以下更新事項》

Q11：授業で分からないところなど個別に教えてもらえますか？

A：授業の内容等の質問に対して丁寧に説明、解説しています。校内の随所に学習スペースがあり、放課後には毎日のように教員が個別に応じている姿が見られます。（Q3参照）

Q12：塾や予備校に通わなくても大学受験は大丈夫ですか？

A：授業を軸に、自学自習を含めた日頃の学習にしっかりと取り組めば、大学受験に通用する学力がつくように授業を計画しています。また、希望者を対象に土曜日や長期休業期間中に様々な講習を行い、大学受験対策となる発展的な学習を行っています。講習を希望者対象としているのは、部活動等の諸活動を優先したい生徒や塾や予備校に通いたい生徒の意思を尊重するためです。毎年、大勢の生徒が、塾や予備校の講義を受けず学校の学習だけで難関大学を含め大学への合格を勝ち取っています。（Q3参照）

Q13：大学入試では推薦入試を受験できますか？

A：大学入試の推薦入試には、指定校推薦入試と一般推薦入試の2種類があります。大学から本校を指定して入学枠を設ける指定校推薦入試については、毎年、早稲田大学や慶應義塾大学など難関大学から推薦を依頼されています（例年依頼がある大学でも学部、学科については年により異なる場合があります。）。また、一般推薦入試についても大勢の生徒が出願し、合格しています。受験を希望する大学が第一志望であること（推薦入試で併願を認めている大学等を除きます。）など、本人の意思を尊重することを原則とし、担任の先生等と相談して推薦入試を受験するか決めていきます。

Q14：文系探究コースは文系の特進クラスですか？

A：文系探究コースは、いわゆる文系（歴史や文学、外国語、法律、政治、経済分野など）に関わる分野をテーマとして第2学年で探究活動を行うコースです。他の文系クラスでは行わない高度な探究活動を実施しています。また、1クラスであることから、希望者が多い場合は

選抜することになり、年によっては入るのが難しくなります。そのため結果的に特進クラスのような場合があります。しかし本校では、文系探究コース以外の文系クラスや理系クラスでも他校から見れば特進クラス同様のハイレベルな授業等を行っており、文系探究コースと同じように多くの生徒が難関大学に合格しています。

Q15：体育の授業は厳しいですか？

A：かつて授業を65分で行っていた時期があり、その頃は実際に体を動かす時間が長く、体力的に大変で厳しいと思われたかもしれません。しかし現在、授業時間は50分で、取り立てて体育の授業がきつい、厳しいとの話はないようです。確かに苦手な人にとって大変なところはあるでしょう。しかし、本校だからといって他の学校と特別異なることはありません。

Q16：スクールバスは誰でも利用できますか？

A：利用料金を払えば誰でも利用可能です。熱海や伊東以南など伊豆半島の東海岸ばかりでなく、三島、沼津方面からでも函南駅前からスクールバスに乗車することができます。現在の運行時刻については、本校ホームページのトップページ右側にある「スクールバス 運行時刻表はこちら」を開いて確認してください。

Q17：通学する手段の内訳はどうなっていますか？

A：主な通学方法（令和4年度）は、自転車63.7%、電車・バス28.1%、徒歩その他8.2%です。

Q18：校則はどうなっていますか？

A：本校では、生徒が高校生活を有意義に過ごすようにするため、生徒心得を設けています。生徒心得については、本校ホームページの「学校案内」内に掲載しています。

Q19：スマートフォン等は持ち込めますか？ 使用制限はありますか？

A：スマートフォン等の持ち込みや使用について「生徒心得」では特に記載していません。ただし、書き込みに関して「生徒心得」に「他人の誹謗中傷になるような発言・書き込み等は絶対に行わないこと」とあります。また、定期テスト等の受験時には電源を切り鞆の中に入れてるようにしています。授業中に私的に使用することは常識的にあり得ないことです。生徒は、マナーを守って授業や他者に迷惑を掛けないようしています。

Q20：アルバイトはできますか？

A：アルバイトについて「生徒心得」では「原則禁止とする。事情がある場合は生徒課に申し出て許可を得ること」としています。なお、例年、年末年始の郵便局及び三嶋大社からの補助人員について、学校を通して募集し、学習成績等に特に問題がなければ許可をしています。